



玉名市立三ツ川小学校

学級数 4学級 児童数 31名

玉名市小中一貫教育 ～玉名市は全小中学校で小中一貫教育を進めています～

＜玉陵中学校区教育目標＞

- 知：自分の言葉で自信を持って表現できる力
- 徳：より良い社会の実現に貢献できる高い志
- 体：人生を生き抜く健康や体力

＜玉陵中学校区でめざす児童像＞

- 希望する進路に向け、主体的に確かな学力を身に付ける児童・生徒
- 自他を大切にし、思いやりのある心豊かな児童・生徒
- 心身ともに健康で、生涯にわたって運動に親しむ児童・生徒

1 ミツ川小プライド ～ミツ川小で大切にしているもの～



「一人はみんなのために、みんなは一人のために」

本校の子どもたちは、全校児童31名全員で踊ったり、歌ったり、遊んだりします。特に、「春風に誘われて」の曲にのって踊るダンスは伝統の1つで、毎年入学式や歓迎遠足にみんなで踊ります。新1年生もとても喜んでくれます。



また、本校では、自分たちで収穫したお米をもち米に交換してもちつき大会を行います。そして、本校農園で収穫した「大根・白菜・人参・水菜・ねぎ」の食材を調理し、学校応援団の方々におもちと三ツ川汁でおもてなしをします。その後、民生委員さんと一緒に独居老人の方々にお米と花鉢を配ります。みなさんに大変喜ばれています。

「神楽の伝承」



本校では、3・4年生が、玉名学「わたしたちのふるさと三ツ川」の中で、地域に大切に伝承されてきた「神楽」に挑戦しています。地域の神楽保存会の方々、舞や笛や太鼓を丁寧に教えてくださいます。子どもたちは一生懸命に取り組み、学習発表会で保護者や地域の方々に披露します。地域の人に学び、学びを深め、将来へ継承していくことを願っています。

「地域とともに」



すばらしい天気恵まれ、本校最後の「校区運動会」を5月28日に実施しました。学校と保護者と地域が一体となった運動会は、毎年大盛況です。運動会を機に、子どもたちと地域の方々のつながりがさらに深まっています。今年は、最後の運動会ということで、ドローンによる記念写真を撮ることが出来ました。

2 学校教育目標

本校教育目標、「豊かな心、確かな学力、たくましい心身を身に付けた児童の育成」を目指し、さまざまな教育活動に取り組んでいます。

3 めざす児童像 ～ミツ川小学校スローガン～

- ☆磨けよ！心：自他を大切にし、思いやりのある心豊かな子
- ☆高めよ！学び：自ら考え、主体的に学び、確かな学力を身に付ける子
- ☆鍛えよ！体：進んで体をきたえる子

4 教育活動の実践・重点事項等

☆磨けよ！心

☆高めよ！学び

☆鍛えよ！体

自他を尊び、認め合う活動の推進

本校では、「磨けよ心：自他を大切にできる子」の取組として、「こころのきずなを深める月間」「なかよし集会」等を生かし、校長講話や学習したことをどう行動に移していくかを考えたり、みんなの課題をロールプレイで表現し学び合いへつなげたりしています。また、各教室や廊下には友だちを認め合う言葉を掲示するなど、統合も見据え人間関係づくりに取り組んでいます。



校内研修の充実 ～統合を見据えた指導方法の工夫改善～

校内研修では、「豊かな言葉の力を育む国語科学習の創造」～統合を見据えた主体的・対話的で深い学びの充実をめざして～を研究主題として取り組んでいます。事前研では模擬授業を行い、授業研究会では、ワークショップの形態で授業の視点に基づき協議を深め、成果と課題を明らかにしています。7月7日には、本校研究主任が玉陵中学校区公開授業を実施します。

また、道徳でも、授業研究会をもとに指導方法の工夫改善に取り組んでいます。6月12日には本校道徳教育推進教師が、自分の良さをこれからも伸ばしていこうという「個性の伸長」の研究授業を行い、一人一人が自分の実践を見つめ直す機会にすることができました。道徳科の実施に向け、授業改善に生かしていきます。



統合に向けての交流学习

今年も、玉陵中校区の小学校は、いろいろな連合の形で大牟田動物園や通潤橋の見学旅行、集団宿泊教室や修学旅行に行く計画です。昨年は、一緒に勉強したり、給食を食べたり、伝統の月瀬太鼓も体験させていただいたりしました。統合を見据え、様々な交流学习を実施していきます。

今年も、みんなで育てます ミツ川米！



毎年、地域の学校応援団や区長さん方にお世話になりミツ川米を育てています。20日に、全児童で田植えをしました。毎年、低学年のお世話をする高学年のやさしい姿を見ることができます。シェームズ先生も応援に来てくれました。最後のミツ川小での米づくり、豊作を願っています。



自己の健康・安全教育の徹底



基本的な生活習慣調べ、体験型の掲示物による情報発信、保健委員会での発表、いろいろな場面を想定した避難訓練等の充実を図ることで、自己管理能力や危険予測能力の育成を進めています。

